

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-20591

(P2000-20591A)

(43) 公開日 平成12年1月21日(2000.1.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	3 3 0 5 B 0 4 9
13/00	3 5 5	13/00	3 5 5 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平10-183661

(22) 出願日 平成10年6月30日(1998.6.30)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(72) 発明者 野山 英郎

神奈川県川崎市麻生区王禅寺1099番地 株式会社日立製作所システム開発研究所内

(72) 発明者 吉成 徳幸

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株式会社日立製作所ソフトウェア開発本部内

(74) 代理人 100068504

弁理士 小川 勝男

最終頁に続く

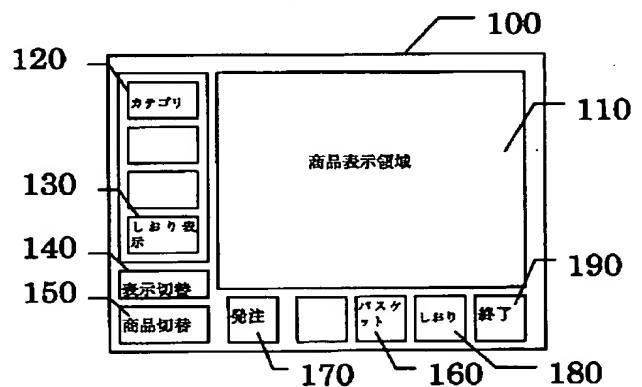
(54) 【発明の名称】 ショッピングシステム

(57) 【要約】

【課題】従来技術における課題は、インターネットに常時接続した状態でショッピングをしなければならないので、通信費が負担になっていた。また、ショッピングを途中で中断したり、途中から再開することができなかった。

【解決手段】商品が選択されている時にしおり付けボタン180を押すと、商品の情報をサーバ等からダウンロードし、クライアントの記憶装置に保存する手段を設けた。また、しおり表示ボタン130を押すと、クライアントの記憶領域に蓄えられた商品の情報を商品表示領域に表示する手段を設けた。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 購入者が使用するクライアントと、前記クライアントと接続され電子ショップで販売する商品情報を保持したモールサーバと、前記クライアントからの注文依頼の情報を受け取る注文サーバから構成されるショッピングシステムにおいて、

前記モールサーバは、前記クライアントから商品情報の電送を要求されたときに、商品を選定するための情報と商品を注文するための手順を組にした電送情報を生成する手段を有し、前記クライアントは、該電送情報をクライアントの記憶領域に蓄積する手段を有することを特徴とするショッピングシステム。

【請求項 2】 購入者が使用するクライアントと接続され、電子ショップで販売する商品情報を保持したモールサーバにおいて、

前記クライアントから商品情報の電送を要求されたときに、商品を選定するための情報と商品を注文するための手順を組にした電送情報を生成する手段と、前記生成する手段で生成された電送情報を前記クライアントに電送する手段を有することを特徴とするモールサーバ。

【請求項 3】 請求項 2 に記載したモールサーバにおいて、

前記生成する手段は、前記クライアントにおいて選択された商品に関する電送情報を生成することを特徴とするモールサーバ。

【請求項 4】 電子ショップで販売する商品情報を保持したモールサーバと接続され、購入者が使用するクライアントにおいて、

前記クライアントから商品情報の電送を要求する手段で要求され、商品を選定するための情報と商品を注文するための手順を組にした電送情報を前記モールサーバから受け取る手段と、

前記電送情報を蓄積する手段と、

前記蓄積された電送情報を読み出す手段と、商品を購入する目的で選択された注文情報を該電送情報とは異なる記憶領域に蓄積する手段を有することを特徴とするショッピングクライアント。

【請求項 5】 請求項 4 に記載したショッピングクライアントにおいて、

前記読み出された電送情報を表示画面に並べて表示する手段を有するショッピングクライアント。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はインターネット上の仮想的な商店におけるショッピング方法に係り、ショッピングの過程が一時的に中断され、クライアント装置がネットワークと非接続になったときに、いつでも以前のショッピングの過程をスムーズに再開できるショッピングシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】 本発明に関連のあるものとして、以下の発明がある。

(a) 特開平 9-265492 号公報「家計管理支援システム」

ユーザの手入力の負担を軽減して、在庫管理を行い、購入した商品が無駄なく有効活用できるようにし、無駄のない買い物ができるようにする家計管理支援システムに関する発明である。この発明において、商品購入時に取引データを受信し、この取引データに含まれる商品情報データを、商品の在庫分析を行うための商品情報データとして記憶するという記述がある。

【0003】 (b) 特開平 8-212237 号公報「電子カタログ」

既存のインフラストラクチャと低価格の機器を用いて、商品を選択させた後の手続きまでを自動的に行なうことができる電子カタログに関する発明である。この発明において、この電子カタログには、購入する商品を選択したときに電話回線を接続して自動的に商品購入に必要な情報をホストへ送信する通信ソフトウェアと、ホスト側の電話回線に接続し情報を送るための電話番号の情報が含まれるという記述がある。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 かかる従来の方法においては、次のような問題点がある。

(1) 従来技術 a において、商品購入時に取引データを受信し、この取引データに含まれる商品情報データを記憶しているので、購入した商品の種類や個数を在庫管理に利用することができる。

【0005】 しかし、これらの商品情報データは購入時の取引データであるため、たとえ商品情報データの中に商品そのものの属性を示すデータが含まれていたとしても、その商品情報データを商品を選ぶ過程で利用することはできない。

【0006】 本発明の第 1 の目的は、商品を選んでいるときの商品情報をクライアント装置に蓄積しておくことによって、クライアント装置がネットワークと一時的に非接続の状態になった時にでも、商品の情報を見たり、購入する商品を選んだりできるようにすることである。

【0007】 (2) 従来技術 b において、電子カタログソフトウェアには注文用ソフトウェアとホストと接続するための通信ソフトウェアとホストの電話番号が含まれており、電子カタログソフトウェアにおいて選択した商品を、電話回線を介して自動的に注文することができる。しかし、電子カタログソフトウェアの中に、ホストに接続するための電話番号その他の情報を登録しておかなければならず、その為には事前にホストへの接続手段を決めておかなければならない。

【0008】 本発明の第 2 の目的は、商品あるいはその注文先を事前に登録されたものに限定するのではなく、

インターネット上の任意のショップにおいて興味深い商品があるのだが、他のショップの商品と見比べたい場合に、その商品の注文をいつでも再開できるようにする事である。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明では第1の課題を解決するために、本発明は以下の構成をとる。クライアントにおいて商品を選んでいるとき、気になった商品の情報をサーバに要求する手段、サーバにおいてクライアントから要求のあった商品の情報をファイルに纏める手段、クライアントにおいてサーバで生成したファイルをダウンロードし、クライアントの記憶媒体に蓄積する手段を設けた。

【0010】これにより、ショッピングの途中でネットワークを切断した場合に、クライアントの記憶媒体に蓄積された商品の情報にアクセスし、気になった商品の中から実際に購入する商品を選ぶことができる。すなわち、気になった商品を選択しても購入することにはならないので、接続時間に比例して費用が発生するインターネット接続時には商品を厳選せずに、ネットワーク接続を切断してから時間をかけて商品を選ぶことができるようになる。さらに、気になった商品の情報は常に記録されるので、インターネット上で商品を探す作業を休憩を入れて進めることができるようになる。

【0011】本発明では第2の課題を解決するために、以下の構成をとる。課題1を解決するために設けた手段と、サーバにおいて、商品を受注するサーバへの接続情報を商品の情報を記載したファイルに纏める手段、クライアントにおいて、サーバとの接続が途切れているときに、記憶媒体に蓄積した該接続情報に基づき、前記サーバに再接続する手段を設けた。

【0012】これによって、インターネット上のショップAにおいて興味深い商品を見つけ、次にショップBの商品と見比べた後で、ショップAの商品を即座に注文できるようになる。

【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施例を詳細に説明する。図1は本発明の効果を説明するための画面表示例を示した説明図であり、図2は本発明を実施するためのハードウェア構成図である。

【0014】表示画面100は、クライアント270の表示装置200に表示される画面である。表示画面100は、商品の画像や価格を表示する商品表示領域110と、商品を絞り込むための商品カテゴリ選択ボタン120と、一つのカテゴリに属する複数の商品を切り替えて表示するための商品切り替えボタン150と、カテゴリ内の複数の商品をリスト表示したり個別表示したりするための表示切り替えボタン140と、気に入った商品を覚えておくためのしおり付けボタン180と、しおりを付けた商品を見るためのしおり表示ボタン130と、購

入する商品を記録しておく為のバスケットボタン160と、商品を発注するための発注ボタン170と、クライアントのショッピングシステムを終了するための終了ボタン190で構成されている。

【0015】ユーザは、コマンド入力装置205を使って商品の選択やボタンの選択等の入力を行なう。また、クライアント260は通信装置215を通してインターネット230等のネットワークに接続されており、インターネットに接続されたサーバ280からデータを取得することができる。すなわち、HTTPクライアントプログラムは、リモートホスト上のwell-knownポートにTCP接続を確立し、HTTPサーバに要求を送ると、HTTPサーバは応答メッセージを返してきます。また、大容量媒体読み出し装置260からデータを取得することもできます。このとき、クライアント270はプロセッサ210と記憶装置220を持ち、クライアントプログラムやデータを記憶装置220上に置き、クライアントプログラムはプロセッサ210で駆動されます。また、バス225によってこれらの装置が連結されており、バス225を通してデータは装置間を移動します。

【0016】一方、サーバ280は、クライアント270との間にTCP接続を確立し、クライアントのローカルプロトコルポートにバイトストリームファイル転送をします。このため、インターネットに接続するための通信装置235と、サーバプログラムやデータ等を記憶する記憶装置240と、プログラムを実行するプロセッサ245とそれらの装置を接続するバス250が必要である。

【0017】図3は、本発明の処理を示す流れ図である。クライアントプログラムが起動されると、ステップ300において処理が始まり、表示画面100が表示装置200に現われる。ユーザは、ステップ305において、表示画面100内にある商品カテゴリ選択ボタン120をクリックする。ステップ310において、選択されたカテゴリが商品の分類を示すものか、事前に登録したしおりを示すものかを判定する。しおりに登録された商品の表示が要求された場合は、ステップ315においてクライアントの記憶装置220からしおりの情報を読み出す。ステップ320において、選択された商品カテゴリあるいはしおりに属する商品を絞り込み、ステップ325で絞り込みの結果を商品表示領域110に表示する。次に、その商品を注文するかどうかをステップ330で判定し、注文をする場合はステップ350に処理を移す。商品を注文しない場合、ステップ335においてその商品をしおりに登録するかどうかを判定する。

【0018】すなわち、商品が商品表示領域110に表示された状態で、しおり付けボタン180が押されたならば、ステップ340において、その商品情報をサーバ280あるいは大容量媒体読み出し装置260からダウンロードします。そして、ステップ345においてクライ

5

アントの記憶領域にその情報を保存します。しおりに登録しない場合、あるいは登録した後で別の商品を見る場合は、処理をステップ320に戻します。一方、ステップ330において商品を注文する場合は、ステップ350において受注サーバへの接続手順を記述したデータを読み込み、ステップ355において受注サーバと接続します。そして、ステップ360において、注文データを受注サーバにアップロードします。商品を注文した後、終了ボタンが押されるとステップ370で処理が終了します。

【0019】図4は、本発明で使用するデータテーブルである。商品データ400は、商品名等の商品を特定するための情報410と、商品の画像ファイル420と、商品の説明等の商品説明文書430と、商品サーバへのアドレス等の商品サーバ接続手順440によって構成されている。また、商品説明文書430は、商品の分類450の情報と、商品の色やサイズといったオプション460の情報と、商品の価格470の情報からなる。この商品データ400には商品サーバとの接続手順に関する情報が含まれており、しおりが設定されると同時にクライアントの記憶装置に保存されるので、サーバとの接続が切断されていてもすぐに商品サーバと再接続することができる。

【0020】図5は、本発明で使用するデータテーブルである。商品データ500は、商品名等の商品を特定するための情報510と、商品の画像ファイル520と、商品の説明等の商品説明文書530と、受注サーバへのアドレス等の受注サーバ接続手順540によって構成されている。この商品データ500には受注サーバとの接続手順に関する情報が含まれており、しおりが設定されると同時にクライアントの記憶装置に保存されるので、サーバとの接続が切断されていてもすぐに受注サーバと再接続することができる。

【0021】図6は、本発明で使用するデータテーブルである。注文データ600は、受注サーバのURLの情報610と、注文する商品を特定するための商品名620の情報と、注文する商品の色やサイズ等のオプション

6

630の情報と、商品の個数640の情報と、その商品の小計金額650の情報と、注文する商品の合計金額660によって構成されている。この商品データ600には、受注サーバとの接続手順に関する情報が含まれており、クライアントの記憶装置に保存されるので、サーバとの接続が切断されていてもすぐに受注サーバと再接続し、一回に纏めて注文することができる。

【0022】

【発明の効果】以上に述べたように、本発明によれば、クライアント装置がネットワークと一時的に非接続の状態になった時にでも、商品の情報を見たり、購入する商品を選んだりすることができる。すなわち、通常のインターネットショッピングのように、常時ネットワークと接続しておく必要が無いので、通信費用が少なくて済む。

【0023】さらに、本発明によれば、興味を持った商品の情報を随時記録しておくことができるので、ショッピングを途中で中断したり、途中から再開することが比較的容易になる。

【0024】さらに、本発明によれば、インターネット上の任意のショップにおいて、幾つかの興味深い商品が見つかった場合に、どの商品についても即座に注文する事ができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の効果を説明するための画面表示例を示した説明図である。

【図2】本発明を実施するためのハードウェア構成図である。

【図3】本発明を実現するための処理を示す流れ図である。

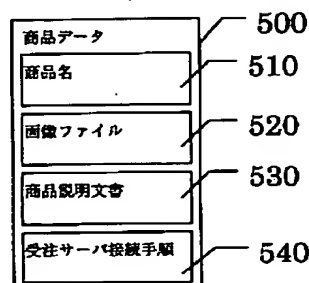
【図4】クライアントの記憶領域に保存するデータのデータテーブルの例を示した説明図である。

【図5】本発明で用いるデータテーブルの例を示した説明図である。

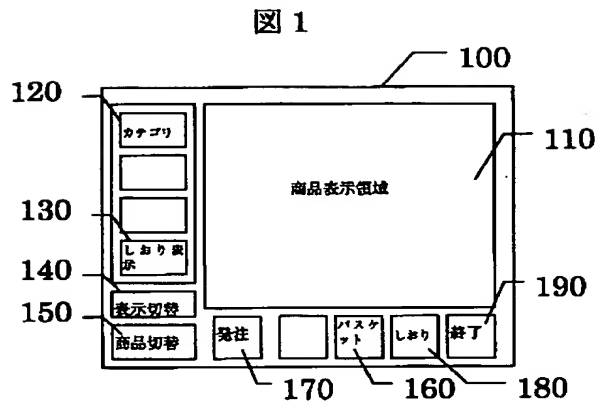
【図6】複数の商品を纏めて注文するときに利用する本発明で用いるデータテーブルの例を示した説明図である。

【図5】

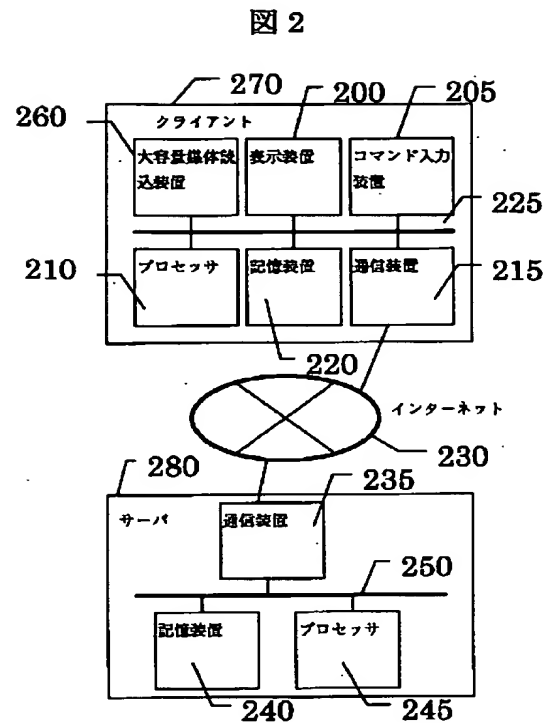
図5



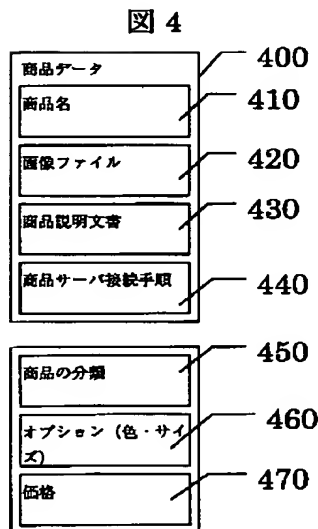
【図 1】



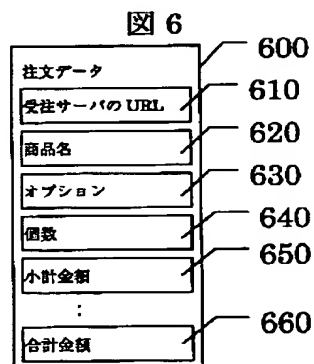
【図 2】



【図 4】

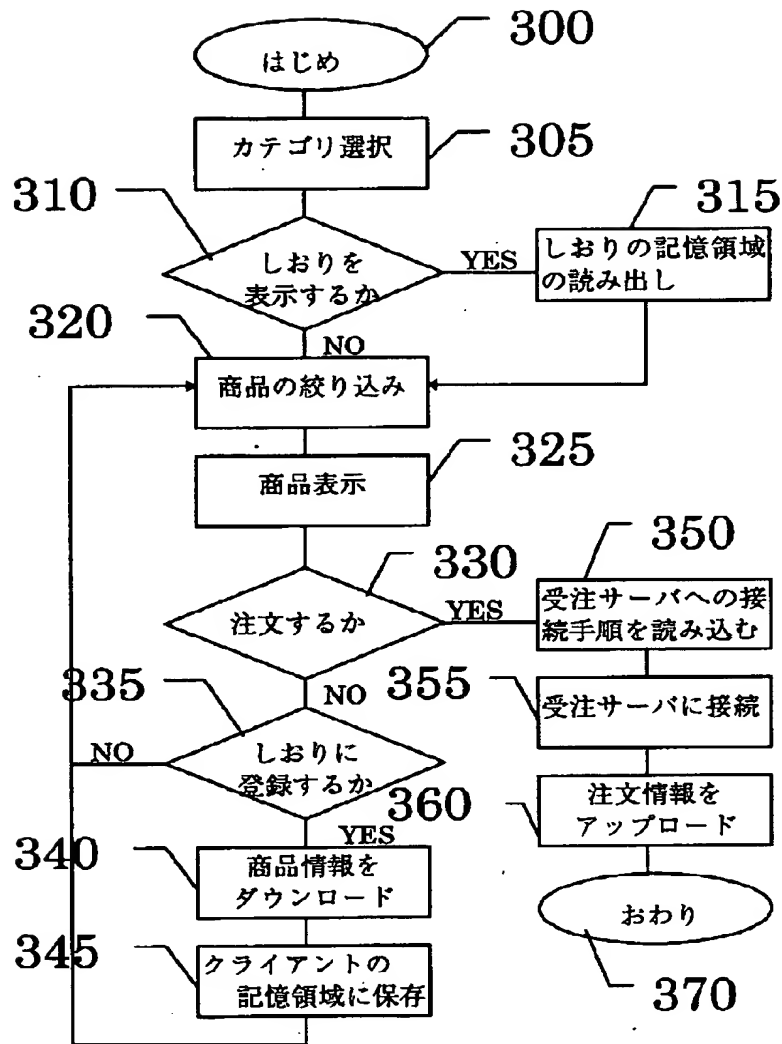


【図 6】



【図3】

図 3



フロントページの続き

(72)発明者 小竹 雅也
 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町5030番地 株
 式会社日立製作所ソフトウェア開発本部内

Fターム(参考) 5B049 AA01 BB11 CC03 CC05 DD01
 EE02 FF07 GG02 GG04
 5B089 AA21 AA22 AD00 AE08 AE09
 AF03 AF04 BB06 CB02 CB03

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.